

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>岐阜市の保育理念「子どもの最善の利益の保障」「子どもにとってもっともふさわしい生活の場の保障」「家庭援助や地域における支援の促進」が明文化され、理念に基づく基本方針として、「子どもの発達援助」「子育て支援」「地域の住民や関係機関との連携」「運営管理」の4本柱を掲げ、明文化している。さらに当保育所の特色「未満児(0.1.2歳児)専門保育所」「個人差に応じた家庭的な保育」「地域の未就園児と交流の輪が広がる保育」「伸び伸びと明るく国際色豊かな保育所」を活かして、保育目標「健康な心と体を作る力」「人や物と関わる力」「言葉で伝えあう力」「感性豊かに工夫し表現する力」が明文化されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念や基本方針の職員への周知については、年度当初に職員、臨時職員、嘱託職員の全員に理念、基本方針を配付し、職員会議等での話し合いを通して周知徹底を図っている。利用者等への周知については、保育所たよりや各行事等の機会、最近ではスマートフォンを介し、また外国籍の利用者には日本語にルビを振ったり、英語表現を使ったりしてわかりやすく掲示している。また、児童館やコミュニティーセンターに文書配置を行い、地域に広く周知を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>中・長期計画については、「乳児・未就園児保育の充実」「地域とのより良い連携をめざす」「外国籍の方との交流会と連携」「丈夫な身体作り」「食育マニュアルに基づいた食育の推進」等を重点化した計画を策定している。中・長期計画を踏まえ、各年度に事業計画を策定している。外国籍の利用者が常に3割を占めるという本保育所独自の特色を活かせるよう日本の四季や習わし等を大切にし、職員全員が一致団結し、他園では経験できない日々の出来事を大切にして、実践している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>計画の策定については、毎月の職員会議の中で見直しをして、改善につなげるという作業をPDCAサイクルとし、保育の質の向上を図っている。また保護者にはその都度、文書で所内に掲示し、情報公開を行っている。文書には外国籍の保護者にも理解できるよう英語表現やルビを打つなどの配慮をしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 日々の保育の中や、職員個々のチャレンジ目標を5月に、10月に中間、年度末の計3回の面談という機会を捉えて、所長の役割や責任を伝えている。また研修会の参加等を通じて積極的な遵守法令の習熟に努め、職員会議や所内研修を通して職員への周知を図っている。保育関係法令や倫理・人権に関する資料をファイルし、事務室に配置している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>	
<p>I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 所長は、常に現場に出向き子どもや保育士を見つめ、指導や助言をタイムリーに行いながら、保育の現状把握に努めている。また各種所内研修を実施し、常に問題意識を持ち職員会議において課題分析を行い、保育の見直しに努めている。効率的な保育所運営には、職員のチームワークが第一と考え、その中で確実な職員間の情報伝達を可能にするため、勤務時間のシフト体制による申し送りの不足分を独自の名前入りの引継ぎ表を作成する等工夫し、全職員に周知を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

<p>Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</p>		<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育事業関係の動向については、「ぜんほきょう(全国社会福祉協議会発行)」「保育士会だより」等の各種専門誌の購読や所長研修、園外研修等の受講に努め、また市担当課、関係機関、地域団体と連携し、各種の情報収集に努め、全職員に周知を図っている。各種行事、保育参観等での保護者アンケート、懇談会、保護者役員会での会談等での意見の汲み上げや園庭開放、子育て支援事業等の実施を通して保護者や地域の未就園児等のニーズの把握に努め、職員間で課題分析を行い、次年度の事業計画に反映させている。また、消耗品や光熱水費の節約に心がけ、予算の効率的な執行に心がけ、適正な保育所運営に努めている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>人事については市の人事規程により、各年齢別児童、障がい児保育児童、長時間保育児童、一時預り保育、子育て支援事業等の状況に応じて職員配置がなされている。人事考課については、人事考課マニュアルに基づき、目標管理制度による人事考課を実施している。またフィードバック面談を実施し、指導・助言を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の有給休暇の取得状況をチェックし、有給休暇を職員が積極的に取得できるよう職員の意向を取り入れながら、バランスのとれた職員配置に留意しつつ勤務表を作成している。また、市の各種厚生福利事業に参加できる体制がある。所長はメンタルヘルス研修を受講し、面接の機会や意見を聴く機会を設けるなど職員が相談しやすい職場環境の整備に心がけている。</p>		

改善できる点／改善方法：	
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員には、個別の目標管理に基づいて職員個々の職位、経験年数などに応じて研修計画を策定し、所内、外部の研修を積極的に受講させている。当所は乳児専門保育所ということから、職員の今後の定期異動を想定し、保育所の対象とする年齢児の保育におけるスペシャリスト育成のための各種研修を受講させている。参加した研修についてレポートの提出や職員会議等での報告を行い、回覧して職員への周知を図っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>実習生受け入れマニュアルが整備され、実習生受け入れの意義や方針が明文化されている。公立保育所の使命として積極的な受け入れを行っており、受け入れに当たり、事前のオリエンテーションや一日実習を行って、保育実習が円滑に行くよう配慮している。実習後はカンファレンスを行い、感想レポートを分析し、次年度の受け入れに反映させている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・B・C
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各種緊急時マニュアルや安全管理マニュアル(事故防止・保健衛生・感染症・不審者対策・個人情報保護等)を整備し、責任と役割を明確に示し、緊急時の速やかな対応体制を整えている。各種訓練(避難訓練・防災訓練・不審者侵入時訓練等)を定期的実施し、評価、見直しを行っている。子どもの安全確保のための事故防止、遊具、用具の点検マニュアルを整備している。事故防止チェックリストや散歩マニュアルを活用し、危険個所の把握や事故防止に努めている。また職員会議等で話し合い、安全確保に対する意識を高めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

II-4 地域との交流と連携

II-4-(1)	地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・B・C
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・B・C
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育の基本方針の中に「地域の住民や関係機関との連携」が明確化され、年間計画に地域との交流を位置付けている。地域のニーズに応じて、園庭開放、子育て相談、図書貸し出し、未就園児交流会、サポート一時保育を実施し、保育所機能の地域還元を行っている。また、保育所案内を地域の公民館等関係機関に配置するなど情報提供に努めている。また旧来から地元の理解があり、民生・児童委員、青少年育成会議、高齢者施設等との交流が継続的に行われている。また、ボランティア受け入れマニュアルを整備し、三味線演奏、伝統遊び等様々なボランティアを受け入れ、保育の幅の広がりにつなげている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・B・C

II-4-(2)-② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの保育に関連する社会資源や関係機関(小学校、公民館、児童館、保健センター、子ども・若者総合支援センター、嘱託医、主任児童委員、民生委員、地域の自治会等)をリスト化し、資料をファイリングし、職員への周知を図っている。また関係機関との連携を密にして、必要な情報収集を行い、保護者に情報提供している。また保育所の通路壁面には「病児・病後児保育だより」を掲示している。関係機関との連携については要保護児童対策協議会へ参加している。とりわけ、市担当課や子ども・若者総合支援センターとの密な連携により児童虐待の防止や早期発見に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	第三者評価結果
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・B・C
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>民生委員・主任児童委員との情報交換や園庭開放、子育て相談、各種行事の実施等を通して地域の子育てニーズの把握に努めている。また、保育所案内を地域の公民館等関係機関に配置するなど情報提供に努めている。サポート一時保育等の地域に向けた支援事業を実施している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>「子どもの主体性を尊重し、一人一人の人権を守る」が理念の中で明示されている。児童憲章、子どもの権利条約、倫理要綱等を保育所内に掲げ、会議等で職員の共通理解を図っている。外国籍の利用者には互いの文化の違いを認め合い、日本の風土を理解した上での子育て支援が出来るよう配慮している。連絡帳もプライバシーそのものと考え、専用ポストを設置し、プールでは遮光カーテンを取り付ける等して、道路に面した保育所の立地を配慮したプライバシー保護に取り組んでいる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（２）－①</p>	<p>利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>行事ごとのアンケート実施や送迎時の声かけ、保育参加や懇談会等の機会を捉えて保護者の意向把握に努め、保護者の意見や要望を職員会議で検討し、改善する等利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。またアンケートの結果や意見に対する対応策を掲示し、情報公開している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（３）－①</p>	<p>利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－②</p>	<p>苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－③</p>	<p>利用者からの意見等に対して迅速に対応している。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保護者に対し、面談が出来る機会をあらかじめ伝えておくと共に、普段から積極的に言葉掛けをして、相談が出来る環境を作り出している。クラス懇談会や個別懇談会、各種行事等の機会を捉えて相談窓口の案内を行い、また送迎時の積極的な声掛けを行う等保護者が意見を述べやすい雰囲気作りに努めている。相談は必要に応じて事務室等で行っている。玄関に意見箱を設置し、苦情解決の仕組み、第三者委員や苦情相談窓口担当を分かりやすく明記し、掲示している。保護者から意見や苦情を受け付けた場合、保護者対応マニュアルに沿って迅速に対応している。小規模の保育所であることから、個々の情報には即応できる体制にある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 「福祉サービス第三者評価基準ガイドライン」の着眼点に基づいて「自己評価チェックリスト」による自己評価を実施し、改善課題を明確にし、改善策を話し合い、保育サービスの質の向上を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 個々のサービスの標準的な実施方法について、個々のサービスに応じた各種マニュアル(食育マニュアル、散歩マニュアル、プールマニュアル等)を作成し、職員への周知に努めている。とりわけ、専門保育所として先進県からの情報を積極的に求め、誤飲や防災などの独自のマニュアルを整備して実践している。また、マニュアルは職員会議で見直されている。保育課程に基づき、子どもの発達を捉えて年齢別指導計画、個別指導計画を作成し、保育を実施している。年間計画は、年1回の見直しと期別ごとの評価見直しを行い、月案は月1回、週案は随時評価見直しを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

Ⅲ－２－（３）－②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施の記録については、記録要領に基づき、個別記録に子ども一人ひとりの発達状況や生活状況等を詳細に記録し、評価・課題分析を行い、次の計画につなげている。所長・副所長は記録内容について常に確認している。個人情報保護に関するマニュアルの規定に基づき、記録の保管、保存、廃棄を行っている。個人情報保護や守秘義務の遵守を会議や研修の場で周知を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－３－（１）－①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－３－（１）－②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育所の概要をホームページで情報提供している。自治会には回覧版で情報提供を行っている。また地域の理念・基本方針等を見やすく玄関に掲示している。また園庭開放時の来訪者や見学希望者に丁寧に対応している。入所にあたり、入所希望の保護者に保育理念、基本方針、入所手続き、保育内容や利用料等について「保育所入所あんない」を説明資料として配付するとともに丁寧に説明を行っている。外国籍の保護者には説明の仕方を工夫し、行事については写真を見せ、持ち物については実物を見せて、わかりやすく説明している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ－３－（２）－①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>市内の保育所への転所の際は、個別記録書類等を申し送り保育の継続性に配慮している。保育終了後も相談が可能であることを説明し、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>市で統一されたアセスメント様式(家庭調査記録、健康診断票、生育歴記録等)を使用し、定められた手順に従ってアセスメントを行っている。子ども一人ひとりのニーズをアンケートや保護者懇談会の実施、送迎時の声かけ、連絡帳のやり取り等で把握している。子どもの発達や個性に応じた保育を展開していくために、保護者との連携を密にしなが、また必要に応じ専門機関からのアドバイスも受けて実践に繋げている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施計画の策定については、アセスメントに基づいて子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にし、子どもの発達状況に即して、保育課程に基づき、地域の特徴を活用した保育所独自の方針や保護者の意向を踏まえて、職員会議で話し合い、指導計画を作成している。指導計画は、職員会議で日々の保育実践の評価、反省を通して振り返り、保育の改善に活かしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育課程は、保育の理念、基本方針、保育所の目標に基づいて編成されている。とりわけ0～2歳児の専門保育所であることや外国籍の子どもが多いことにより国際色豊かな保育所としての特色を踏まえて計画が策定されている。職員の異動、急病や出産等があり、人員体制作りにも苦慮されている面があるが、その状況の中で全職員が自分の得意分野を活かし、安心安全な環境づくりに努め、外国籍の利用児親子への保育所の理解促進のため、コミュニケーション作りにも工夫を重ね、現状に即した保育課程に基づき実践している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育室は日当たりが良く、広くゆったりと過ごすことができる環境であり、手づくりのままごとセット、机や椅子、遊具等は充実している。戸外に出る際に座って靴を脱いだり、履いたりできるよう人工芝のテラスが整備されている。国の違いによる言葉や文化の違いについて、ボディランゲージを活用してコミュニケーションに努め、連絡ノートや掲示物の記述についても外国籍の保護者にもわかるよう工夫する等熱心な支援が行われている。また常勤の看護師が健康面を細やかに見ている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（３）1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>担任でなくてもどの保育士でも育児についての相談ができ、気軽に話せる関係ができていて協働して子育て支援にあたっている。また2歳児を中心に保育所のミニ菜園で野菜を育てて収穫している。年齢の大きい子や地域の人々と交流を持てるよう2階にある児童館を利用したり、クリスマス会や運動会等各行事には地域の人々を呼び、交流している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（４）3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>対象年齢が0歳児～2歳児のため非該当</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（５）小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	A・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 対象年齢が0歳児～2歳児のため非該当</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
<p>IV-2-（1）生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保育室が広く、遊びのコーナーや午睡のスペースも十分確保されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（2）子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保育所では靴下を履かないで素足で過ごし、健康づくりに努めている。天気の良い日は、戸外での遊びが多く、活発に身体を動かして遊んでいる。基本的な生活習慣について、2歳児は自分でやりたい気持ちが強くなるのでその気持ちを大切に、できない所は見守りながら援助している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（3）子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 日々の保育で特に週末の土曜日は他の保育室で遊ぶことができ、他のクラスの子とも関わって遊び、交流ができています。また2歳児は児童館を利用し、地域の参加している親子とふれあう機会がある。長時間児は異年齢の子と遊ぶ機会が多い。異年齢の子と関わって過ごすことができる機会を取り入れた行事が多くある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（4）子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 中学生が毎年来訪する体験学習では一緒に芋掘りをしながら遊んでもらうことを楽しみにしている。2階の児童館を利用したりして、地域の人々との交流がある。運動会では地域の人々にも参加してもらったり、外国籍の親子には日本文化や環境の良さを知る機会になるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（5）子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 外国籍の保護者が多いので民族衣装を借りて展示したり、楽器演奏会や祖母の三味線で盆踊りをする等、保護者参加の表現活動の機会が活発であるため、外国文化に触れる機会は豊富にある。また生活発表会では牛乳パックで作ったひな段に並んで歌や楽器遊びを発表している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： ブロック研修では近隣の保育所4所で研究テーマについて研究発表をしたり、学習会を行い、保育の向上に努めている。正規職員が少ないため、毎週、自己評価ガイドラインに基づき自己評価を行い、保育の見通しや意思疎通に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 職員が同じ方向で援助できるよう各クラスの担当者が職員会議等で話し合い、その内容を書面でパートの職員に伝え、意志統一して保育に必要な援助ができるようにしている。職員会議には全員が参加できないので後日、所長が参加できなかった職員に会議内容を報告している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 現在、特に障がいのある子はいないが、保護者から相談があれば、専門的な相談機関「子ども・若者総合支援センター」や「ポッポの家」と連携を取り、保育を行える体制がある。また障がい児保育に関する研修を受講し、職員会議で報告したり、所内研修を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 長時間保育を受ける1,2歳児は人数が少なくなった時点で合同保育となり、異年齢の子ども同士が遊ぶことができるよう配慮している。担当の職員は、伝達事項について必ず長時間担当の職員に伝えている。</p>	

改善できる点／改善方法：

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果 ①・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>看護師が体調の変化に迅速に対応している。特別に注意が必要な子どもに対しては保護者と密に連携し、職員が共通理解をもって対応できるようにしている。「元気っ子会」で看護師がうがいや歯みがき、手洗いの大切さを紙芝居等で子どもたちに伝えている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	①・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>週2回展示食を行っており、保護者がレシピを自由に活用している。また食事について写真で知らせたり、園内の小さな菜園で育てた野菜を収穫して、味わう経験ができる取り組みをしている。0歳児クラスには離乳食の献立(前期、中期、後期)をわかりやすく掲示してある。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	①・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>市の給食献立検討委員会では各保育所から提出された内容を見直し、改善や工夫に努めている。また職員からの意見も取り上げられ、改善が図られている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	①・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事前の間診票を提出してもらい、受診を行っている。健診結果によって治療が必要な場合は受診票を渡し、受診状況の確認を行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 ①・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>食物アレルギー除去食については、定期的に主治医意見書をもとに献立の検討を保護者、担任、調理員、所長と面談して確認をしている。提供時には、調理員、担任、所長や副所長で3重チェックを行い、安全確認をしてい</p>	

る。当保育所の特徴的な課題として宗教上の観点から保護者の申し出により、成分を除去した給食を提供したり、代替え品を家庭より持参している。	
改善できる点／改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 各種マニュアルに沿って調理を行い、一日2回、水質検査を実施している。また年2回の薬剤師による衛生検査や飲料水検査も行っている。所長による定期検査により、衛生管理の見直しも行っている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 食材の産地情報を掲示したり、参観日には食事の様子を見ることが出来る。また展示食は保護者に好評で特にきざみ方、色取り等参考になるとのことである。レシピも利用者が多い。未満児には連絡帳があり、食事の状況を細やかに伝えることができています。	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 日本語が不慣れな外国籍の保護者には配布物にはルビを打ち、わかりやすいようにしたり、保育士も英語でノートを書く等、信頼関係づくりやコミュニケーションに努めている。連絡ノートはあるが、顔を見たら積極的に声をかけをし、気軽に会話ができるようにしている。	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 行事には保護者の参加を促すため、予定を立てやすいように配慮したり、行事アンケートの内容については速やかに対応し、集計した内容について他の保護者たちにも知らせている。保護者の意見は保育の見直しや次の保育に反映できるようにしている。	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 注意が必要な子がいる場合は、全員が様子を見守り観察をしている。虐待マニュアルの内容について常に職員が確認してマニュアルに沿った援助ができるようにしている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ－１ 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ－１－（１） 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 門や玄関の施錠を行い、様々な事態を想定した不審者訓練を2ヶ月に1回行っている。市担当課や隣接の小学校から寄せられた様々な情報はすぐに掲示し、保護者に伝えている。また保護者から伝えられた情報は関係機関に連絡して全職員と保護者に伝えている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ－２ 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ－２－（１） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 早めに予定を保護者に通知しているので、大半の保護者が参加できている。今後は車の駐車場の確保策(小学校の休校時に行事を行うことができればグラウンドを駐車場に借りることができるのではないかな)等を検討されると良い。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅶ－２－（２） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 人形劇の開催やぞうさんクラブの活動に協力している。絵本のプレゼントの時は所長と相談し3冊選び、その中から好きな絵本を子どもたちが選べるようになっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 幼稚園教育課程の研修に参加し、卒園後の保育園・保育所等連携を取り、保育内容の充実を図っている。</p>	

改善できる点／改善方法：